

2020年12月25日

報道関係者各位

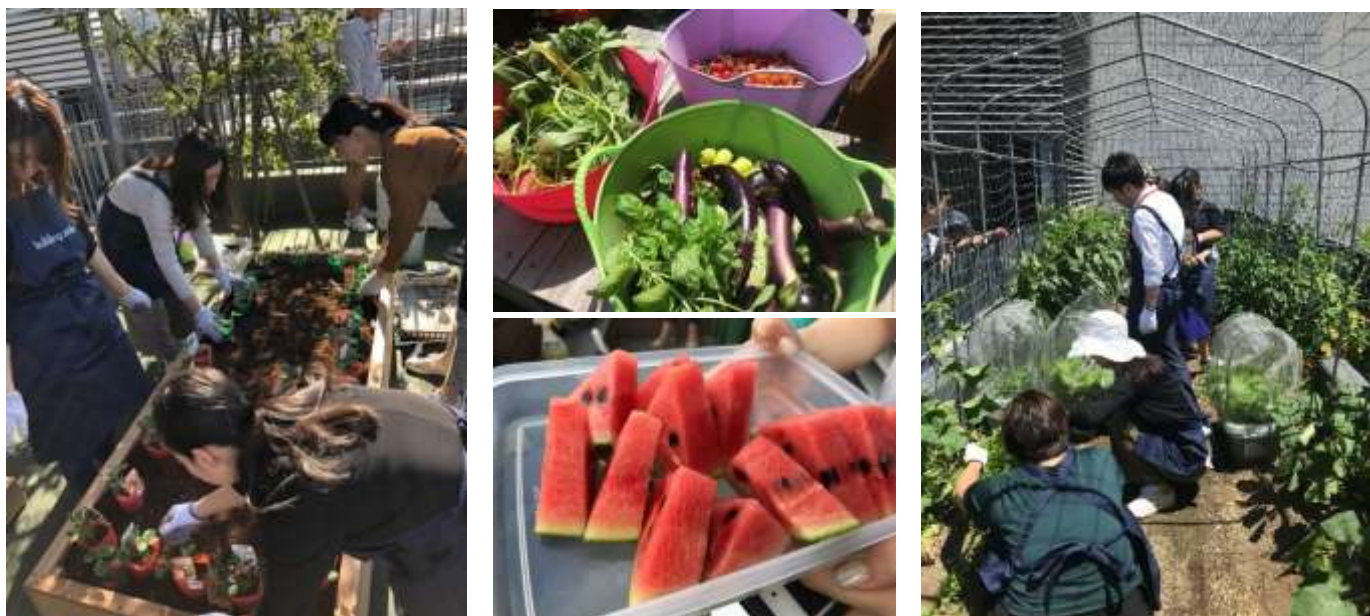
東急不動産株式会社

オフィスビル屋上空間をコミュニティの場として活用 菜園活動「Vegetable Smiles」(ベジスマ) コロナ禍におけるコミュニケーション活性化の一助に

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：岡田 正志）は、オフィスビル事業のコンセプト「building smiles はたらく人を笑顔に。」を実現するべく、当社のオフィスビルで働くワーカーの満足度向上に注力しています。その一環として、都内4棟のオフィスビルの屋上空間において、菜園活動「Vegetable Smiles」(ベジスマ)を本格的に展開することをお知らせいたします。

本活動は、テナント間のコミュニケーション醸成を目的にビルの屋上を活用し、新目黒東急ビル(所在：東京都品川区)で開始しました。同じビルに勤務していても、これまで交流が生まれる機会はほとんどありませんでしたが、本活動を行うことで、これまでなかった社内外のコミュニティが生まれています。また、就業時間の合間に外気や自然光、土に触れてリフレッシュすることで、労働生産性向上にもつながると考えられています。

東急不動産では、緑の持つ力を活用した新しい働き方の提案として「Green Work Style」を提唱しており、これまでの実証実験においても開放感のある緑豊かな空間での休憩が、疲労感やストレスの低下をもたらすことや、緑が癒しを与える効果があることに加え、働く意欲やコミュニケーション向上に繋がることを確認しています。



※写真は2019年実施時のもの。現在はマスクの着用・消毒の徹底など、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した運営を実施しています。

本活動では、これまでトウモロコシやブドウ、スイカをはじめとした約50種類の野菜や果物を栽培してきました。これらの作物は栽培や収穫活動をするだけでなく、収穫作物を利用した加工品作りなども行い、テナント間のコミュニケーション醸成を図ってまいりました。また、こうした個人消費だけでなく、ビル内の飲食店舗のオリジナルメニューに活用することにも挑戦しています。加えてオフィスビル



に勤務するワーカーだけでなく、地域住民や近隣の保育園に通う子供たちに向けた環境教育の場としても活用するなど、様々な取り組みを行っています。今後はビル内で排出された生ごみをコンポストで再利用し、新たな作物生産の肥料として活用するなどの循環を生むことで、環境に配慮したビル運営を推進します。

東急不動産は、今後もワーカーの満足度向上に加え、環境配慮型のビル開発・運営、地域への環境教育を意識した、サステナブルな活動を推進してまいります。

【ベジスマ活動実施中のオフィスビル】

ビル名	所在地
東京ポートシティ竹芝	東京都港区海岸一丁目7番1号
日比谷パークフロント	東京都千代田区内幸町二丁目1番6号
新目黒東急ビル	東京都品川区上大崎二丁目25番2号
ウノサワ東急ビル	東京都渋谷区恵比寿一丁目19番15号

■ 「Vegetable Smiles (ベジスマ)」 これまでの活動実績

1. 収穫野菜・果物を加工品に

新目黒東急ビルでは4種のブドウを栽培しており、収穫したブドウで、ブドウジャムを製作。参加者と試食会を実施しました。また、収穫した野菜を自家製ピクルスにするなど、参加者同士でレシピの共有などのコミュニケーションが生まれています。さらに、ウノサワ東急ビルで栽培したハーブを活用してハーブティーを提供することで、地域の居住者の方々の地域交流の場が創出されました。



収穫前のブドウと自家製ピクルス

2. ビル内の飲食店舗でオリジナルメニューを提供

今年開業した東京ポートシティ竹芝では、ビルで栽培したハーブや野菜を使用したカクテルやメニューの提供を、ビル内の飲食店舗と共同で実施をしました。畑のあるオフィスビルとして、話題創出の一助を担っています。



提供されたオリジナルメニュー

3. 近隣の居住者や子供たちに、環境教育の場を提供

東京ポートシティ竹芝では、近隣の保育園の園児たちと一緒に、ビルの田んぼで栽培した稲の稲刈りを実施しました。都会での非日常的な体験をするだけでなく、環境教育の場としても活用しました。入居企業などを対象に竹芝新八景巡りも企画・実施しており、今後も環境配慮型のビル運営と環境教育の推進をしてまいります。



竹芝新八景「田の景」での稲刈りの様子 (2020年11月)



■ 東急不動産ホールディングスグループが取り組む SDG s

東急不動産ホールディングスグループは、2015年に国連サミットで採択された2030年までの「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に貢献しております。持続可能な世界を実現するための17の目標のうち、取り組む項目を定め、SDGsを起点にサステナブルな社会と成長をめざします。

本取り組みにおいては、環境配慮型のオフィスビル開発・運営と、ビルで働くワーカーの心身の健康増進やコミュニティ醸成の推進の視点から、目標11「住み続けられるまちづくりを」、環境教育や食育の観点から目標12「つくる責任つかう責任」、そして横断的な取り組みにより目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」の達成に寄与するものと考えています。

